

# キラリレポ

市民編集委員の視点から

竹下 江里子さん

## 図書館事業 「夏の子ども会」

### 野菜のことを調べよう

7月25日に中央図書館で「夏の子ども会」が開かれました。今回は、初めて多摩六都科学館と連携して企画され、多摩六都科学館の専門のスタッフの方によるお話やワークの後、中央図書館の職員による読み聞かせが行われました。夏休み中の親子で盛況だった会場の様子をお伝えします。

#### 植物のどこを食べているの？



野菜の食べている部分を説明

スーパーで売っている、たくさんの種類の野菜たち。種をまき、芽が出て、花が咲き、やがて実になる植物のどこを食べているのかを、多摩六都科学館の方にわかりやすく教えていただきました。

よく食べる野菜を使って問題が出されると、子どもたちからは、「くき!」、「実!」、「根っこ!」と元気な答えが返ってきました。

清瀬市内の畑でも見かける野菜はすぐに答えが出ますが、ブロッコリーはつぼみの部分だったり、じゃがいもは茎の一部だったり、おとなでも考え込んでしまう問題も。お店で見る姿だけではわからない、野菜の新しい見方を発見しました。

#### 野菜図鑑をつくろう!

次はいよいよ、子どもたちも大好きなワークの時間です。切り方次第で、おもしろい形になる野菜たちを、紙にスタンプしていきます。



野菜のスタンプをする子どもたち



野菜図鑑

さらに、スタンプした紙に実物の種を貼り付け、食べている部分を書き込めば、オリジナルの野菜図鑑が完成です。子どもたちは「チンゲン菜の断面は、バラの花みたい!」、「オクラは星の形だね」と話しながら、全種類制覇を目指して夢中で押ししていました。

最後に、野菜ができるまでが詳しく書かれた本の読み聞かせ。これ以外にも、図書館には野菜図鑑や、野菜についての本もたくさん取りそろえているそうです。

手作りのミニプランターと野菜の種をおみやげにもらい、楽しみながら学べたようでした。

#### 子ども会に参加して

苦手な人も多い野菜について、見方を変えたり、図鑑をつくることで身近なものに感じるような工夫がたくさんありました。親子で一緒に学びながら、自由研究にもぴったりだと思います。会の始まりは緊張ぎみだった子どもたちも、多摩六都科学館や図書館のスタッフの方々の話を聞きながらスタンプしていくと、会場はにぎやかな声で溢れました。

図書館の子ども会は「子ども読書の日(4月23日)」の前後、夏・冬休みの年3回、駅前図書館を除く市内5館で開催しています。今後も、専門機関と連携しながら活動するそうです。もっと調べたい、知りたいという気持ちが湧き上がる図書館や多摩六都科学館に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



読み聞かせの様子

#### 図書館・多摩六都科学館へ行こう!

市報きよせでは、図書館と多摩六都科学館のイベント情報を掲載しています。市報を読んで、遊びに来てくださいね!

## 消費生活相談の現場から

### 一分かりにくい表示 コインパーキングの料金トラブル

コインパーキングに関するトラブルの多くは料金に関するものです。その原因は、料金表示の分かりにくさにあります。看板に最大〇〇円という表示が大きく書かれていて諸条件が小さな文字で書かれている場合が多く、消費者が誤認識しやすいのです。

#### 【事例1】

看板に当日最大1,000円と書いてあるコインパーキングに車を停めた。次の日に出庫するにあたり支払いは2,000円だと思っていたら4,000円以上の精算金だった。

#### 【事例2】

12時間最大1,200円という看板を見てパーキングを利用した。10時間後に精算したら3,600円の料金が表示された。

#### 【アドバイス】

事例1は停めた日のみ1,000円で繰り返しはない、つまり次の日は通常の料金となる事が下の方に書かれていました。

事例2の12時間1,200円は、平日夜間(午後7時~午前7時)と、休日の昼間(午前7時~午後7時)に限定された料金で、表示は隣の看板に記されていました。

その他、最大〇〇円は20台分



あるパーキングの奥の方の料金で、手前側の止めやすいところはその金額ではなかったというような事例もあります。

消費者がパーキングを利用するにあたり、そういった条件を認識できなければ景品表示法の有利誤認表示にあたる恐れがあります。

コインパーキングを利用する時は、看板に大きく書かれた情報だけで判断せず、すべての表示や注意書きをよく読むようにしましょう。

もし料金トラブルが起きた時は、連絡先、料金説明が書かれた看板などを写真に撮り、消費生活センターに相談しましょう。

消費生活センター ☎042-495-6212 (相談専用)

## 市史で候 mini

### 今昔「新庁舎」

「市史で候」三十六の巻  
「今昔「新庁舎」」より

新庁舎の建設工事が始まっています。もともと駐車場やJA(農協)があった辺りに、新庁舎が建設されます。建物完成は令和2年度、新庁舎での業務開始は令和3年度の予定です。

今、新庁舎というと、建設中の建物を指しています。しかし、遡ること40年余、昭和48年には、現庁舎が「新庁舎」でした。

この時も、それまでの庁舎に隣接して、「新庁舎」を建てました。

写真中央に写っている2階建て

の建物が昭和の「旧庁舎」、その後ろに見える白っぽい四角い建物が昭和の「新庁舎」、すなわち現庁舎です。

写真の「旧庁舎」は昭和3年に清瀬村役場として建てられたもので、清瀬が町になり、市になるのを見届けました。

そして、昭和48年にその役目を引き継いだ現庁舎は、昭和の終わりを、平成の終わりを見届け、令和の新庁舎に役目をバトンタッチすることになります。



昭和の「旧庁舎」と「新庁舎」 昭和48年ごろ 清瀬市郷土博物館所蔵

本編をご覧になるには 市ホームページ…トップページ>市政情報>広報>清瀬市ブログ  
プリントアウト版…市内の各図書館でご覧いただけます

## 9月のびん・かん 収集について

9月17日(火)・24日(火)は祝日の翌日ですが、次の地区では通常どおりびん・かんの収集を行います。  
下宿、旭が丘、中里四丁目~六丁目 ☎ごみ減量推進課ごみ減量推進係 ☎042-493-3750